在庫 2009 取扱説明書

インストール編

Ver.1.0.0.0

有限会社サイネン・システム

インストール

1. 動作環境

「在庫２００９」をインストールするには、以下の動作環境を満たしている必要があります。

■ 動作環境 ■

対応ＯＳ

- Windows XP(32bit 版)　　ServicePack2 適用以上
- Windows Vista(32bit 版)　　ServicePack1 適用以上
- Windows 2003 Server(32bit 版)　　ServicePack2 適用以上
- Windows 2008 Server(32bit 版)

コンピュータ

- 上記基本ソフトウェアが稼働する IBM AT 互換 32bit パソコン

メモリ

- 128MB 以上 (512MB 以上を推奨)

ハードディスク

- C ドライブに空き 800MB 以上(10GB 以上を推奨)

ディスプレイ

- 解像度 XGA(1024 x 768)以上、High Color(65,536 色)以上

■ 補足説明 ■

「在庫２００９」以外に以下のソフトをインストールします。

- Microsoft 社　　Windows Installer 4.5
- Microsoft 社　　Framework 3.5 SP1
- Microsoft 社　　SQL Server 2008 Express
- iKey Driver

■ 注意事項 ■

- Excel に情報を出力する際には、Excel がインストールされている必要があります。

2. ご使用環境

インストールを実行する前に、「在庫２００９」の**ご使用環境を以下の３つから選択して下さい。**

※以下の図の**(親)**とは、実際に在庫データを保存するマシンを指します。
※以下の図の**(子)**とは、「在庫２００９」を使用するマシンを指します。

■１台のマシンだけで在庫管理をする場合（スタンドアローン）

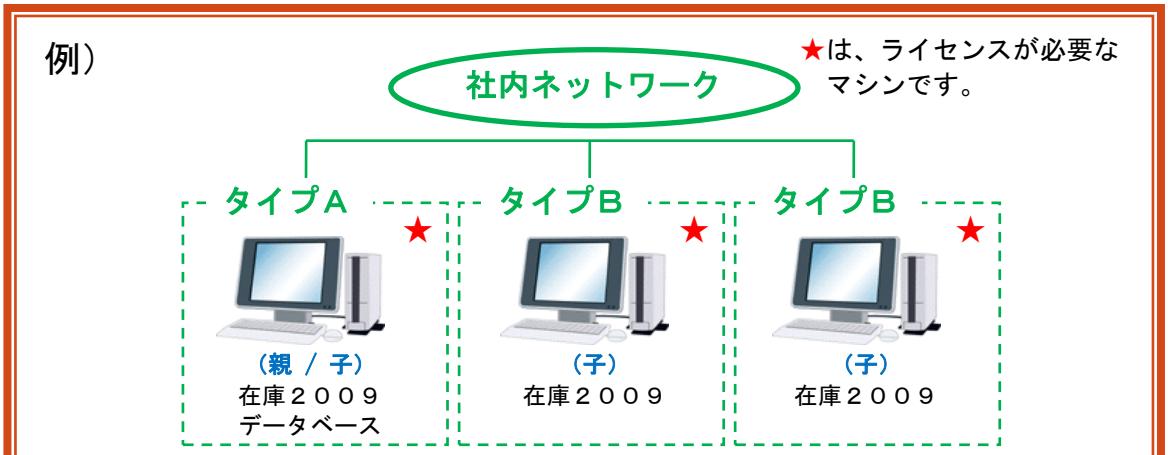
例）

★は、ライセンスが必要なマシンです。

（この例では、ライセンスが **１つ** 必要です。）

■複数のマシンで在庫管理をする場合（データベース専用マシン無）

例）

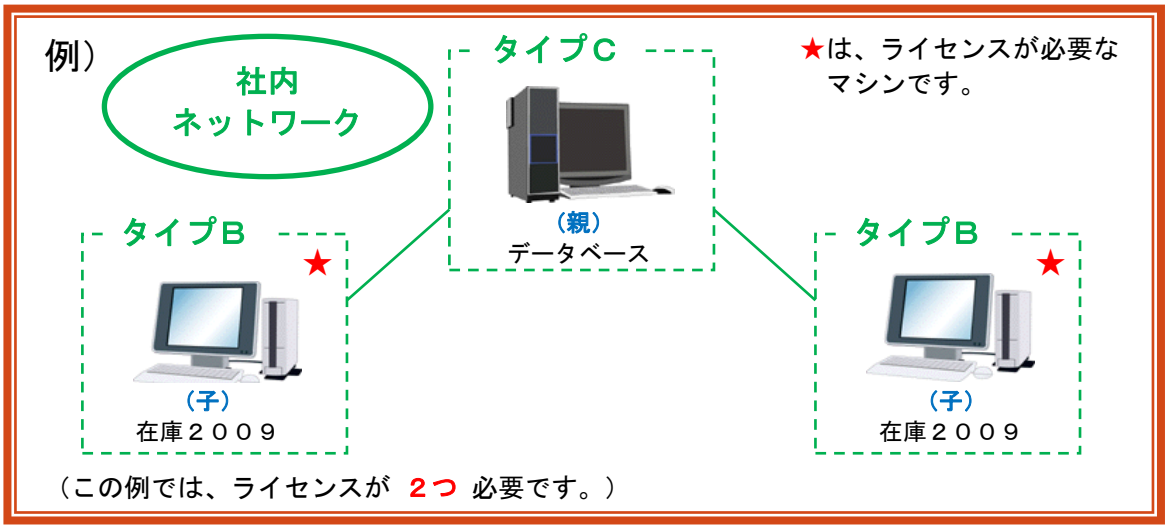


★は、ライセンスが必要なマシンです。

（この例では、ライセンスが **３つ** 必要です。）

■複数のマシンで在庫管理をする場合（データベース専用マシン有）

例）



★は、ライセンスが必要なマシンです。

（この例では、ライセンスが **２つ** 必要です。）

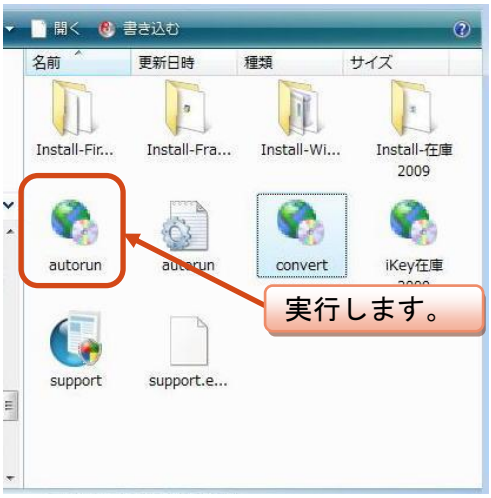
タイプA のインストールは、本書 P3「3-1.「タイプA」のインストール」へ。
タイプB のインストールは、本書 P6「3-2.「タイプB」のインストール」へ。
タイプC のインストールは、本書 P8「3-3.「タイプC」のインストール」へ。

3. インストール手順

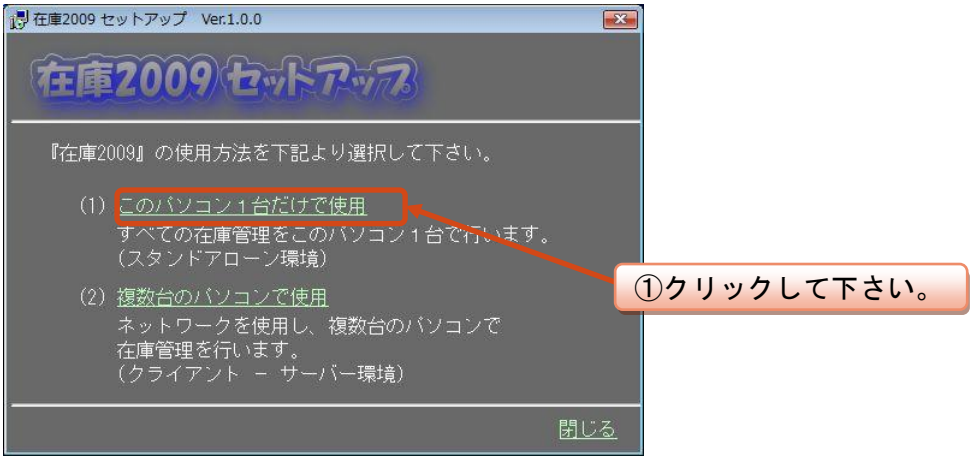
3-1.「タイプＡ」のインストール

※ 管理者権限でインストールして下さい。

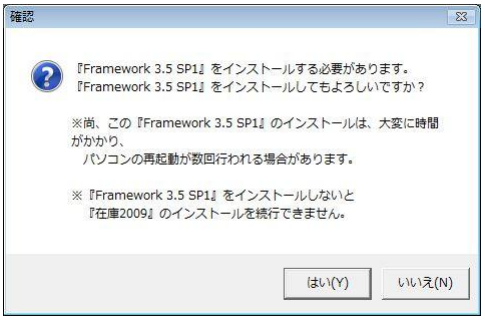
手順１． ＣＤ－ＲＯＭを入れ、「マイコンピュータ」を開き、ＣＤ－ＲＯＭ内の、
「autorun.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



手順２．

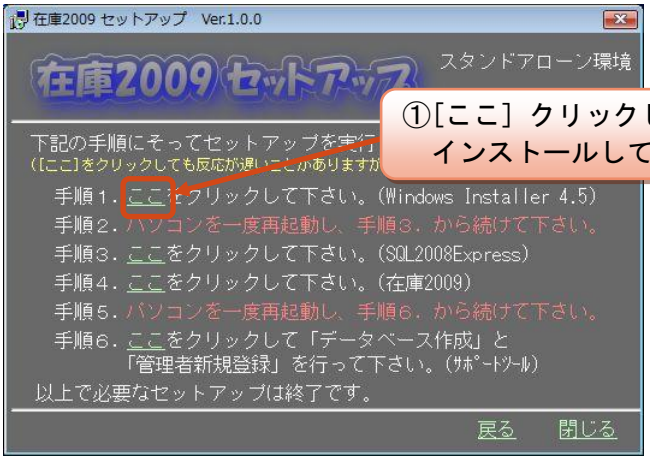


手順３． 必要な方のみ、Framework 3.5 をインストールします。



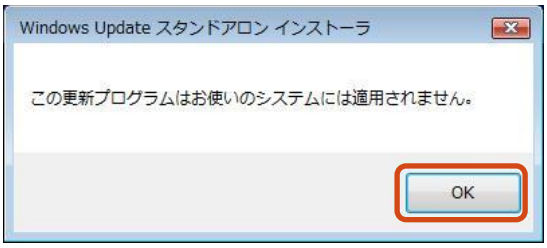
※ ご使用のマシンに Framework 3.5 がインストールされている場合には、
表示されません。
※ 非常に時間がかかる場合があります。
※ Framework 3.5 が既にインストールされていないと、先に進むことができません。
※ 再起動を要求されることがありますので、その場合は、再起動をして下さい。

手順４．



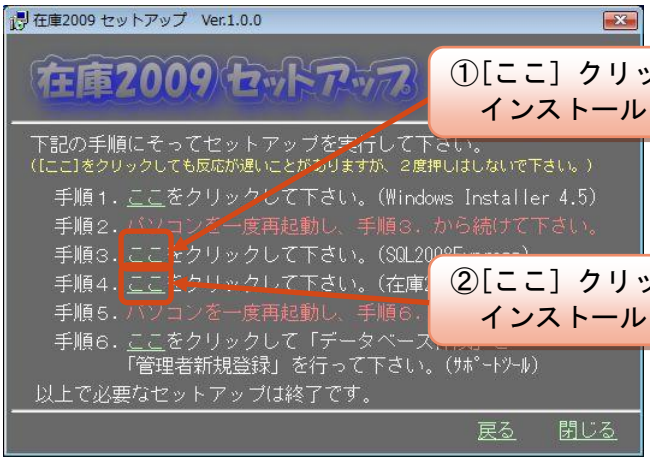
①[ここ] クリックして、Windows Installer 4.5 をインストールして下さい。

※ 既に、Windows Installer 4.5 がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。「ＯＫ」ボタンをクリックして、**手順６．から** 操作を行ってください。



手順５．一度マシンを再起動し、再び手順１．～２．を行い、手順４．の画面まで進んで下さい。

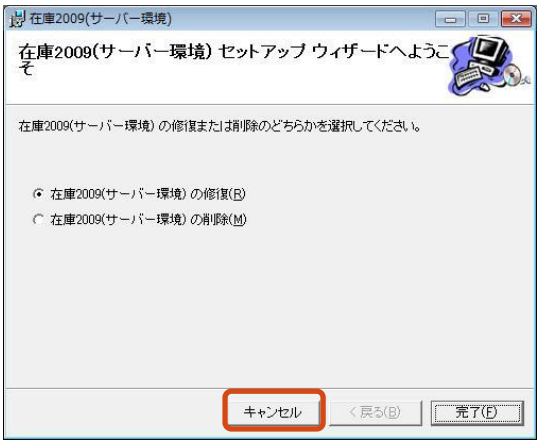
手順６．



①[ここ] クリックして、SQL2008Express をインストールして下さい。(※1)

②[ここ] クリックして、「在庫２００９」をインストールして下さい。(※2)

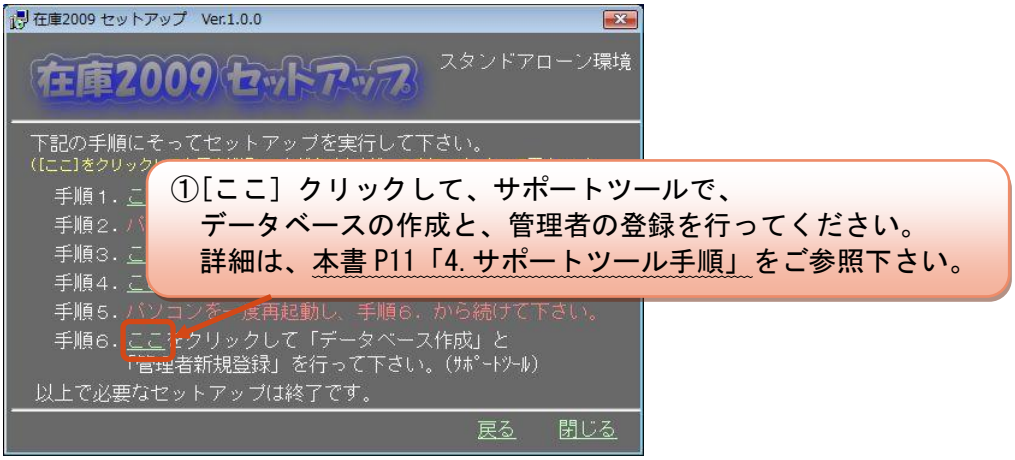
※1 既に、SQL2008Express がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックして、**手順６．の ② から** 操作を行ってください。



※2 既に、在庫２００９がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックして、**手順７．から** 操作を行ってください。

手順７．一度マシンを再起動し、再び手順１．～２．を行い、手順４．の画面まで進んで下さい。

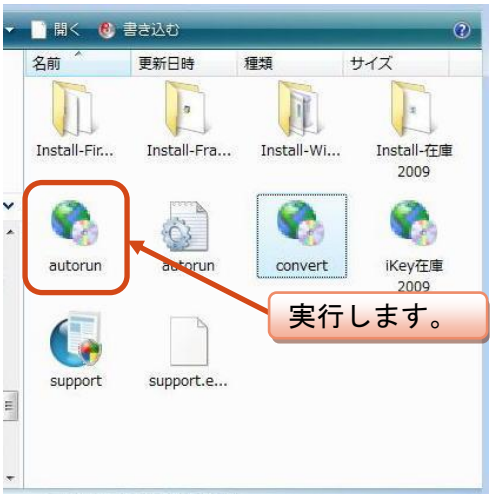
手順８．



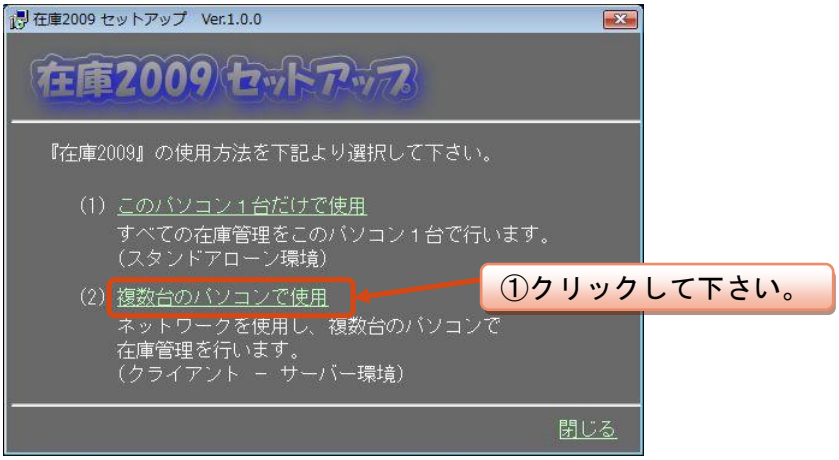
3-2.「タイプＢ」のインストール

※ 管理者権限でインストールして下さい。

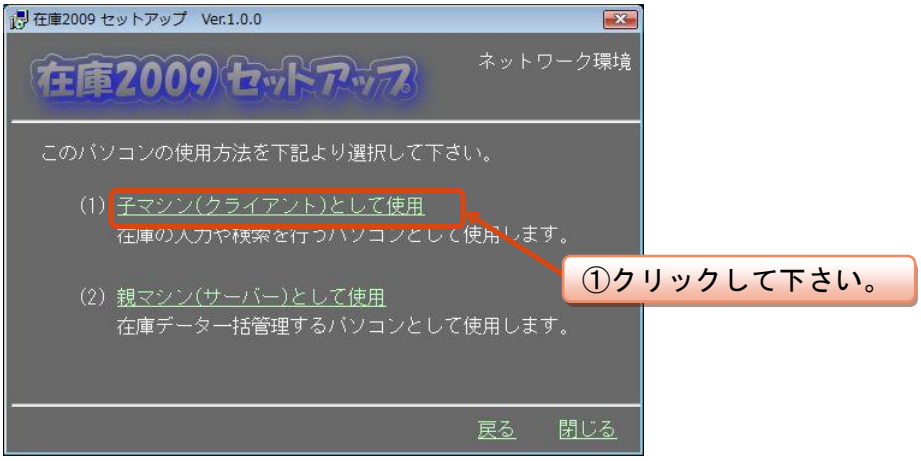
手順１．　ＣＤ－ＲＯＭを入れ、「マイコンピュータ」を開き、ＣＤ－ＲＯＭ内の、
「autorun.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



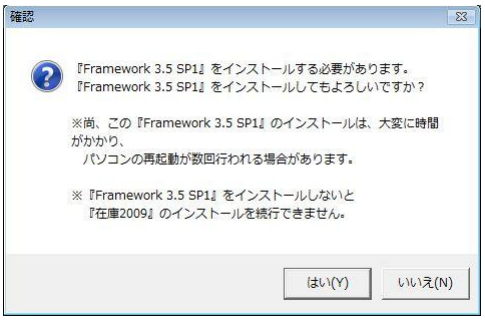
手順２．



手順３．

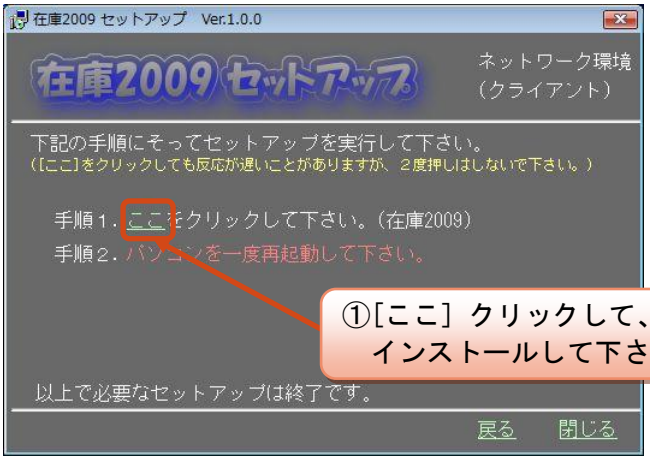


手順４．必要な方のみ、Framework 3.5 をインストールします。



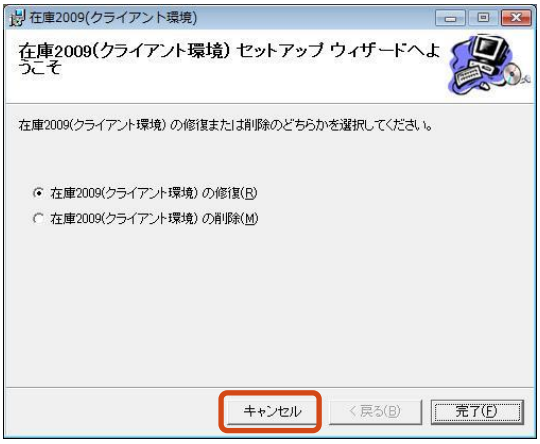
※ ご使用のマシンに Framework 3.5 がインストールされている場合には、
表示されません。
※ 非常に時間がかかる場合があります。
※ Framework 3.5 が既にインストールされていないと、先に進むことができません。
※ 再起動を要求されることがありますので、その場合は、再起動をして下さい。

手順５．



①[ここ］クリックして、「在庫２００９」を
インストールして下さい。

※ 既に、在庫２００９がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。以降の操作は必要ありません。

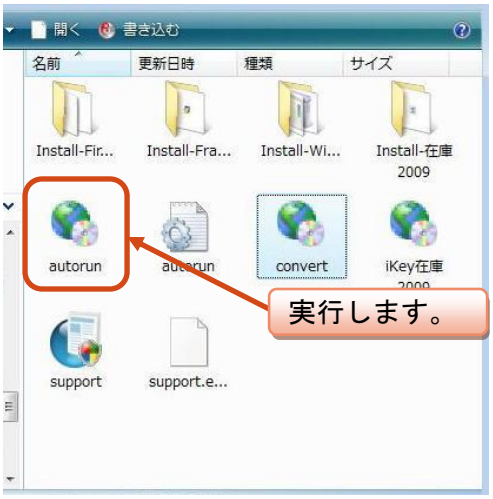


手順６．一度マシンを再起動して下さい。

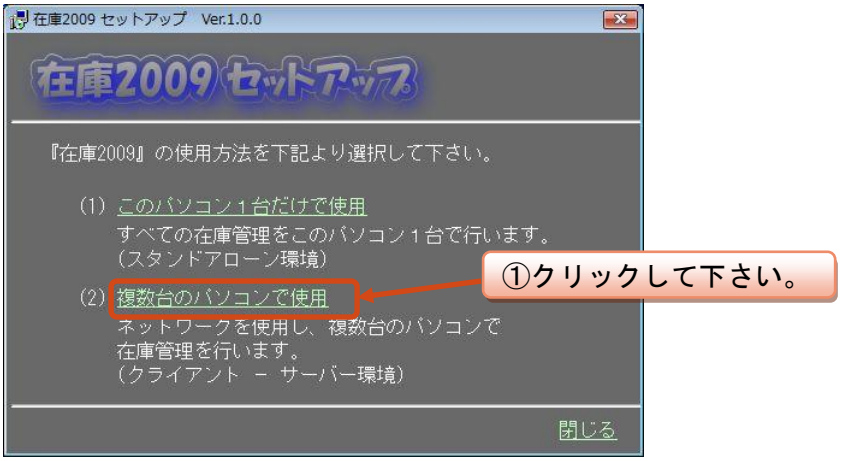
3-3.「タイプＣ」のインストール

※ 管理者権限でインストールして下さい。

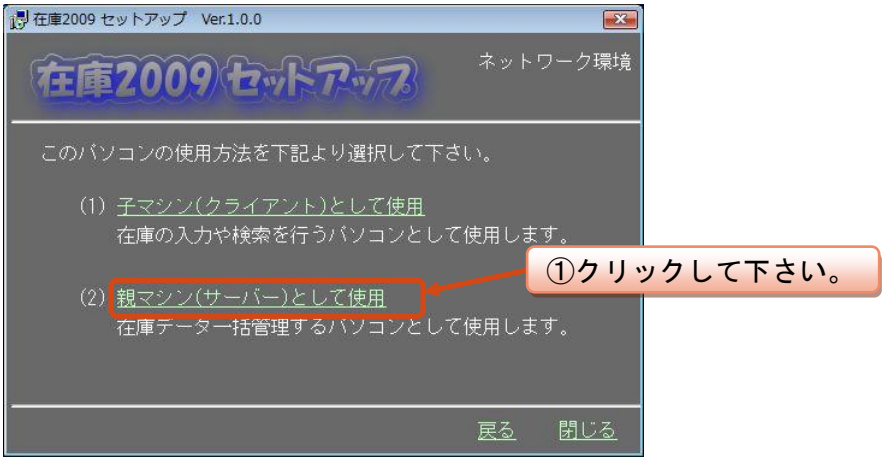
手順１．ＣＤ－ＲＯＭを入れ、「マイコンピュータ」を開き、ＣＤ－ＲＯＭの、「autorun.exe」をダブルクリックして実行して下さい。



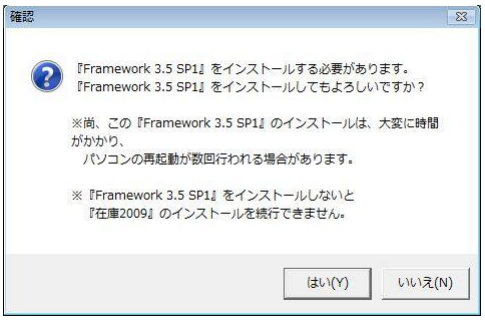
手順２．



手順３．

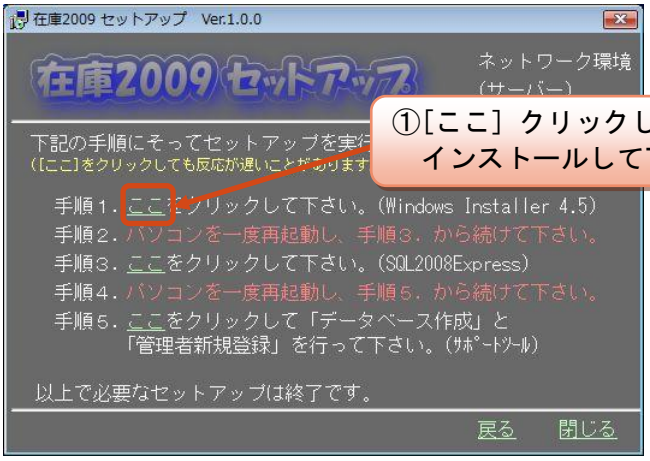


手順４．必要な方のみ、Framework 3.5 をインストールします。



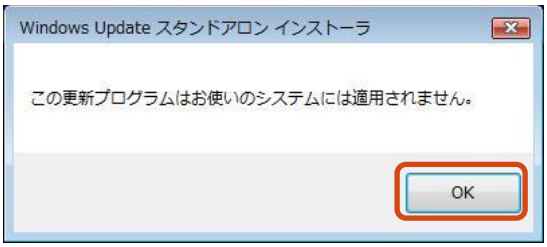
※ ご使用のマシンに Framework 3.5 がインストールされている場合には、
表示されません。
※ 非常に時間がかかる場合があります。
※ Framework 3.5 が既にインストールされていないと、先に進むことができません。
※ 再起動を要求されることがありますので、その場合は、再起動をして下さい。

手順５．



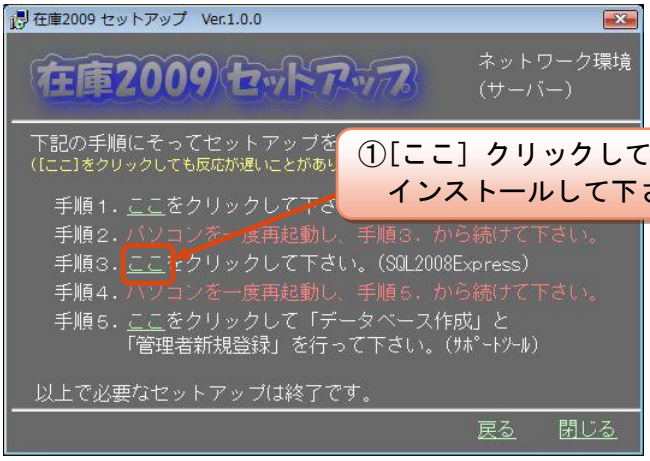
①[ここ] クリックして、Windows Installer 4.5 をインストールして下さい。

※ 既に、Windows Installer 4.5 がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。「ＯＫ」ボタンをクリックして、**手順７．から** 操作を行ってください。

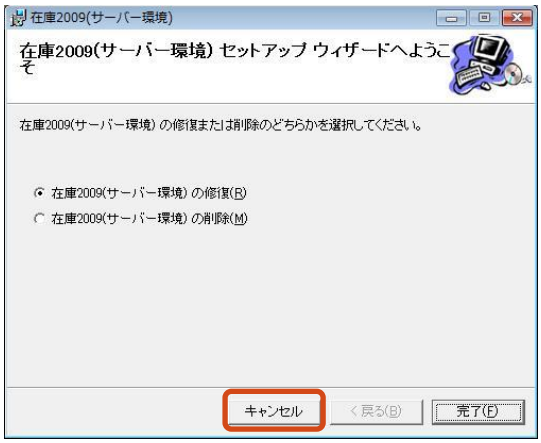


手順６．一度マシンを再起動し、再び手順１．～３．を行い、手順５．の画面まで進んで下さい。

手順７．

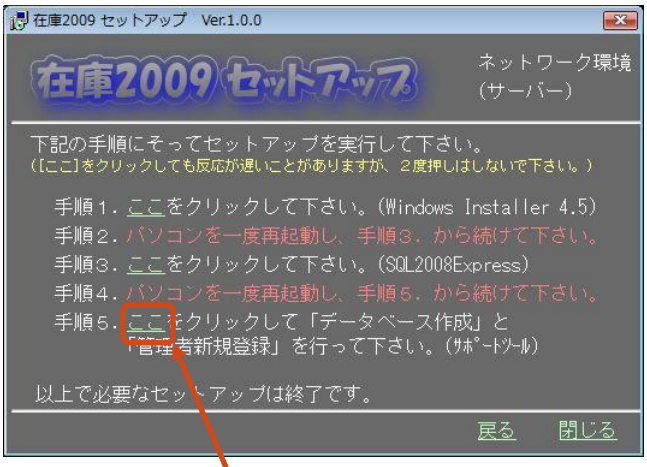


※ 既に、SQL2008Express がインストールされている場合、以下の画面が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックして、**手順９．から** 操作を行ってください。



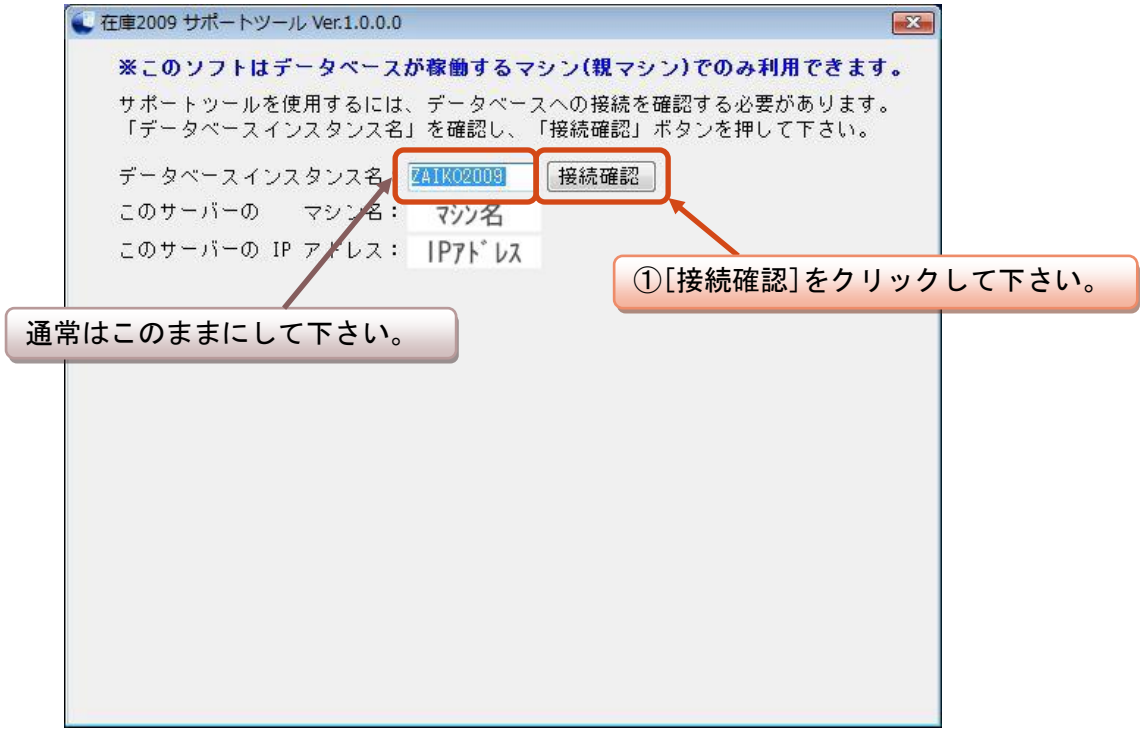
手順８．一度マシンを再起動し、再び手順１．～３．を行い、手順５．の画面まで進んで下さい

手順９．



4. サポートツール手順

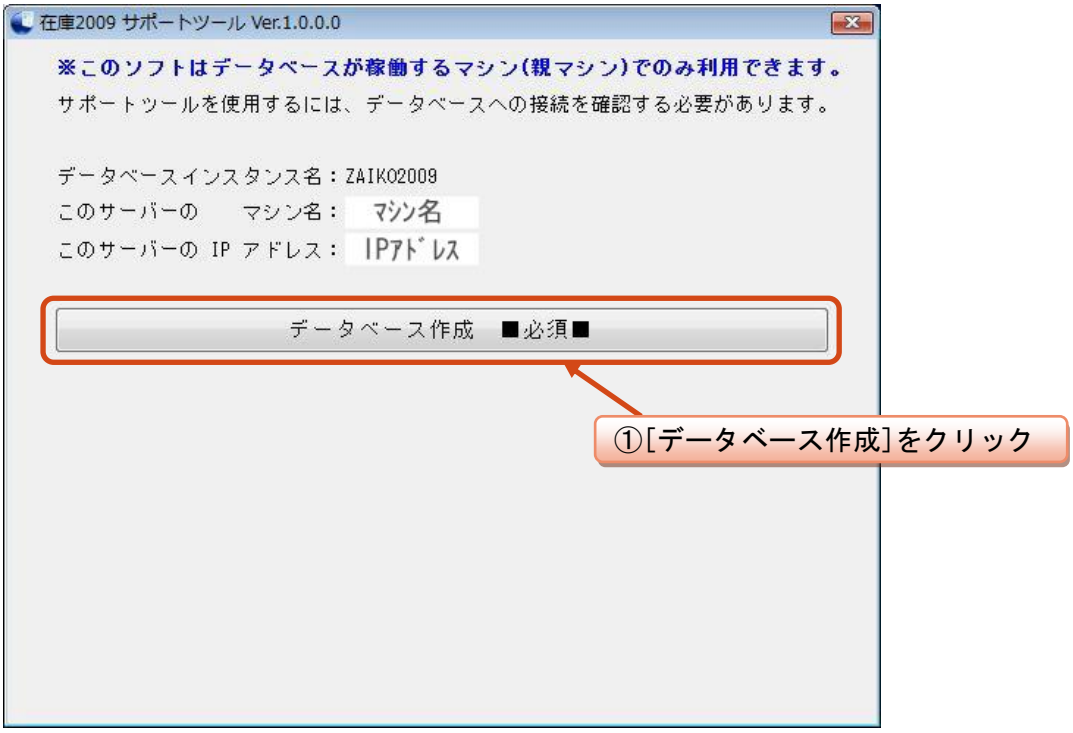
手順１．接続確認を行います。



手順２．データベースを作成します。

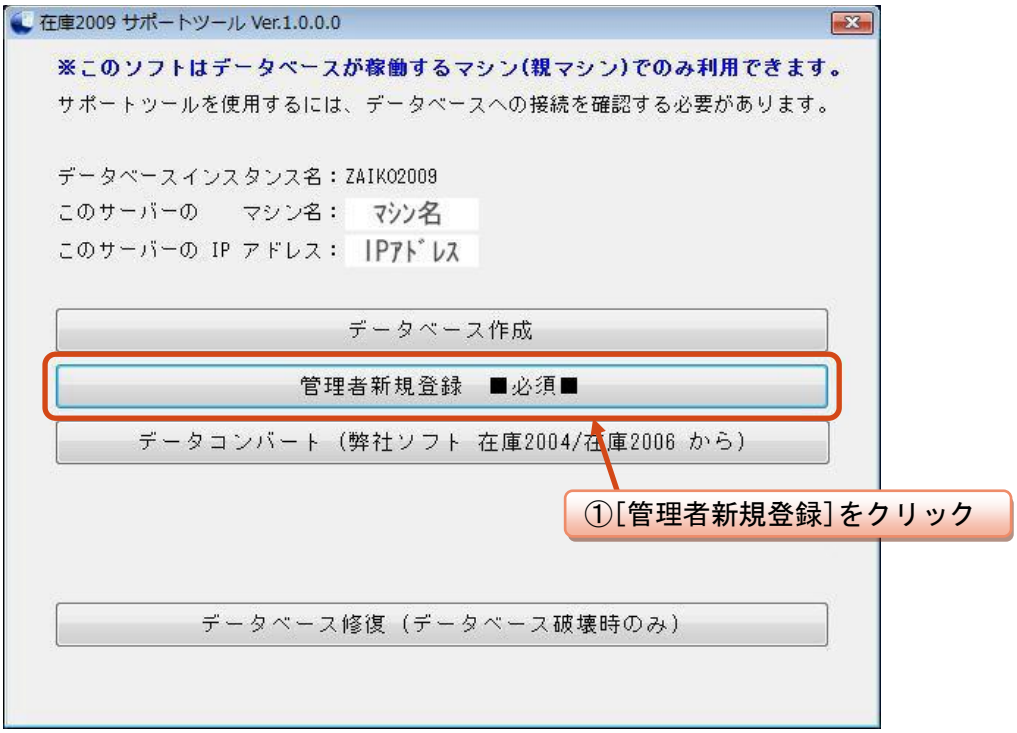
※ボタンに「■必須■」の文字が表示されていない場合は、既にデータベースが作成されていますので、手順２は必要ありません。手順３へお進み下さい。

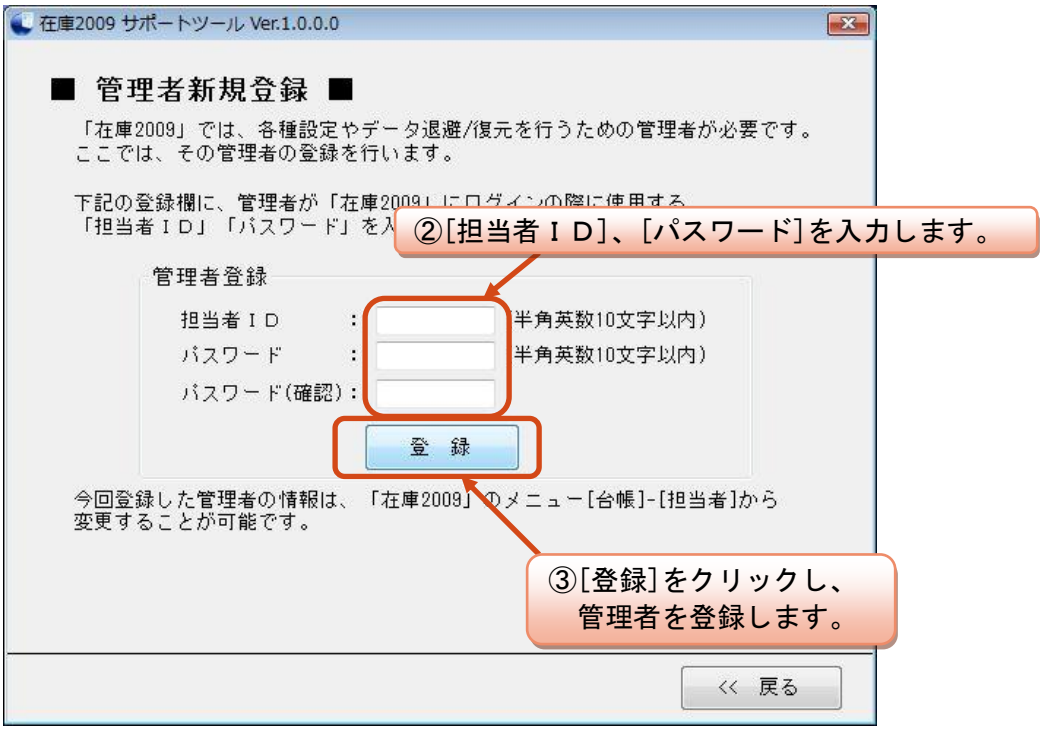
既にデータベースが作成されている状態で、再度「データベース作成」を実行すると、データが削除されますのでご注意下さい。



手順３．管理者を新規登録します。

初めて「在庫２００９」をご使用になる時に必要な「担当者ＩＤ」「パスワード」になりますので、忘れないようにして下さい。





※ 在庫ソフト「在庫２００４」または「在庫２００６」のデータインポートは、取扱説明書（データ移行編）をご参照下さい。